

大阪総合デザイン専門学校

学校関係者評価報告書

(平成26年度)

実施日＝平成26年8月4日

学校法人上田学園

大阪総合デザイン専門学校

学校法人上田学園 大阪総合デザイン専門学校 学校関係者評価報告書について

学校法人上田学園は、平成20年に、学校自己評価制度導入を図るために、自己点検部会を設立し、組織的な体制を築きました。その後、平成23年度より「学校自己評価報告書」を取りまとめ、平成24年6月、平成25年6月、平成26年6月に本学園のホームページ上に公表いたしました。

また、平成25年度より、本校に関係の深い方々からご意見等を頂戴し、今後の学校運営に反映させ、改善を図るべく「学校関係者評価」を実施いたしております。学校関係者評価委員会では、第三者の視点に立った、多くの貴重なご意見、ご指導を賜り、改めて学校関係者評価の重要性を認識した次第です。ここに学校関係者評価の内容についてご報告いたします。

今後もより良い学校運営、教育活動を目指し、教職員一同尽力して参りますので、関係者の方々をはじめ皆様の、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年9月

学校法人上田学園 理事長 上田哲也
大阪総合デザイン専門学校 校長 越田英喜

1. 「学校関係者評価」の実施について

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に則し実施した「平成25年度学校自己評価報告書」に基づき、本校と関係の深い3名の学校関係者評価委員の方々に評価して頂きました。

各評価委員には、事前に「平成25年度学校自己評価報告書」等の学校評価に関連する資料を配布した上で、学校関係者評価委員会でご意見を頂戴しました。

評価委員からのご意見は、校長が承り、その内容等について要約の上、報告書として取り纏めました。

平成25年度学校自己評価報告書と併せてご覧いただければと存じます。

2. 学校関係者評価委員一覧表

評価委員	当校との関係属性等	備考
井村 良裕	オフィス・トライアド井村アトリエ 代表 同窓会長・評議員のお立場でのご参画。 毎年、卒業制作の中から同窓会会長賞を選出頂いております。	委員長
鵜飼 隆	(有)タイトルアート 代表取締役 卒業生を継続的に多数ご採用頂いております企業様の代表としてご参画。	
杉本 清	元大阪府職員 長年にわたり、地域のデザイン振興に寄与されて来られた業界の専門家としてのご参画。	

3. 学校関係者評価委員会 次第（平成26年8月4日開催）

1. 校長挨拶

2. 委員長の選出

評価委員全員のご了承を頂き、同窓会長で評議員でもある井村良裕氏を委員長に選出。

3. 「学校自己評価報告書」に基づき、下記 4 点を判断基準に、「中長期経営計画」及び前年度の同委員会で頂いたご意見を元に改善を図った点等、適宜補足説明を加えた上で、評価委員より意見及び助言を聴取し、検討。

- 判断基準
1. 自己評価の結果の内容が適切か否か
 2. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切か否か
 3. 学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切か否か
 4. 学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切か否か

5. 校長よりお礼の言葉

大項目別 学校関係者評価結果 意見・助言

		評価項目	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
1	教育理念 目的 人材育成 像	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか ・学校における職業教育その他の教育指導等の特色は何か ・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか 	4 (3.5) 3 2 1
		意見 助言	<ul style="list-style-type: none"> ・個性的な活動、変革する努力を続けているところは評価に値する。 ・ガイドライン的な評価をすることにより、ブランディング化など特色が反映されていないようにも感じられる。
2	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか ・人事、給与に関する規定等は整備されているか ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか 	4 (3.7) 3 2 1
		意見 助言	<ul style="list-style-type: none"> ・新設校を開校するなど、攻めの経営に出ており、発展的な展開が期待できる。 ・中長期経営戦略におけるビジョン、将来像などの項目だしがされている方が分かり易い。 ・各部署、各学科で色々な取組みをしていることは分かるが、横の関係での連携が加われば更に改善が図られると思う。
3	教育活動	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
		<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 	4 (3.7) 3 2 1

		<ul style="list-style-type: none"> ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ・職員の能力開発のための研修等が行われているか 					
3	教育活動	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">意見 助言</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・4年制の高度専門士を取得する学科などは、独特の取り組みをしており、ブランディング化することで、特色を打ち出せるのではないかと。 ・関西の芸術大学が専門学校化してきていると言われる昨今の状況において、大学と競合する学科を多くもつ本校がどのようなカリキュラム体系を確立していくのか課題は多い。 ・専門学校である以上、スキルアップ、表現のリテラシーが必要と思われる。 ・学生の授業アンケートを実施することで、業界のニーズのみならず、学生の声を活かした授業計画・体制が整備されることが望まれる。 </td> </tr> </table>	意見 助言	<ul style="list-style-type: none"> ・4年制の高度専門士を取得する学科などは、独特の取り組みをしており、ブランディング化することで、特色を打ち出せるのではないかと。 ・関西の芸術大学が専門学校化してきていると言われる昨今の状況において、大学と競合する学科を多くもつ本校がどのようなカリキュラム体系を確立していくのか課題は多い。 ・専門学校である以上、スキルアップ、表現のリテラシーが必要と思われる。 ・学生の授業アンケートを実施することで、業界のニーズのみならず、学生の声を活かした授業計画・体制が整備されることが望まれる。 			
意見 助言	<ul style="list-style-type: none"> ・4年制の高度専門士を取得する学科などは、独特の取り組みをしており、ブランディング化することで、特色を打ち出せるのではないかと。 ・関西の芸術大学が専門学校化してきていると言われる昨今の状況において、大学と競合する学科を多くもつ本校がどのようなカリキュラム体系を確立していくのか課題は多い。 ・専門学校である以上、スキルアップ、表現のリテラシーが必要と思われる。 ・学生の授業アンケートを実施することで、業界のニーズのみならず、学生の声を活かした授業計画・体制が整備されることが望まれる。 						
4	教育成果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">評価項目</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">4 3.8 3 2 1</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか 	4 3.8 3 2 1	
評価項目	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1						
<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか 	4 3.8 3 2 1						

		意見 助言	<ul style="list-style-type: none"> ・近年では漫画・コミック系の学生が全学生の7割を占めるという構成になっており、就職に関しては社会構造の変化に迅速に対応できるような体制作りが必要である。 ・エンターテインメントの学術化などと言われており、キャリア形成についても従来型の会社に帰属する形から個人のアイデンティティへと移行してきている。 ・地方出身者も多く、Uターン就職など地元への貢献という視野も持たせて欲しい。 ・「知的財産権」「カラーコーディネート」など、資格取得がカリキュラムに組み込まれている科目もあり、資格取得率の向上が図られている。 	
5	学生支援	評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
		<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援は行われているか ・保護者と適切に連携しているか ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか 		4 (3.5) 3 2 1
		意見 助言	・保護者との連携において、必要事項の伝達はなされているが、相互交流という面では保護者会のようなものも必要ではないか。	
6	教育環境	評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
		<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ・防災に対する体制は整備されているか 		4 (3.7) 3 2 1
		意見 助言	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のハード面に合わせた定員の設定など、経営戦略上でも見直しが行われている。 ・近隣の文化施設を利用しての学校独自のイベント企画、東京などで開催されるイベントへの出展など学生の社会参加への機会を増やす支援がなされている。 	

7	学生の募集と受け入れ	評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
		<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・学納金は妥当なものとなっているか 		④ 3 2 1
		意見助言	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内、HP を見ると適正に募集活動が行われていると思われるが、外部評価など継続的にモニタリングを受けることも必要だと考える。 	
8	財務	評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
		<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計検査が適正に行なわれているか ・財務情報公開の体制整備はできているか 		4 ③.8 3 2 1
		意見助言	<ul style="list-style-type: none"> ・財務情報を公開し、会計監査も適正に行なわれており、問題はないと思われる。 	
9	法令等の遵守	評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
		<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか ・自己評価結果を公開しているか 		④ 3 2 1
		意見助言	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護推進部会を設置し、積極的に取り組んでおり、問題はないと思われる。 ・今年度より各学科の自己評価が数値化されており、項目によっては低評価もあるが、自己評価はあまり高くない方が望ましいともいえる。今後の改善、努力に繋げて欲しい。 	
10	社会貢献	評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域連携を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか 		4 ③.3 3 2 1
		意見助言	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携の実績を積んできているが、更に地学連携の充実を図ってほしい。 	

		評価項目	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
11	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか 	4 (3.3) 3 2 1
	意見 助言	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校を経由しない直接入学など留学生の受入れ、支援など整備されてきたことが留学生の増加に繋がっていると思われる。 ・在校生の国際交流機会の促進にも力を入れることが望まれる。 	
今後の 学校運営の 方向性に 対する 総合的な助言		<p>すでに三重県等で実施されているような「地域と学の連携」プロジェクトを将来的には一層充実させることで、西日本の地域産業・地域自治体・NPO 等への人材輩出校としての地位を高めてもいいのではないかと考える。総合校で学ぶことができる知識・技術は、あらゆる産業やサービスの広報や販促・企画開発に必要とされることを学生に教え、地元・地域で教育成果が発揮してもらえるよう地域との連携を進める環境づくりも検討してほしい。(杉本委員)</p> <p>4年制大学や短期大学よりも専門学校の価値が高いと思うことが多々ある。専門学校卒業生の実社会における即戦力化の早さが、社会的価値として認められているからと考える。その意味で、昨今のわが国の活力を生み出す人材育成機関としての専門学校の意義は、さらに深いものとなると考える。大阪総合デザイン専門学校は、グラフィックス、インテリア、フィギュアなどモノのデザインの分野から、さらに事業領域を拡大し、ゲームやアニメーション、そしてダンサーやタレント、声優育成などエンタテインメント分野にまで事業領域を拡大し、大阪エンタテインメントデザイン専門学校を今春開設した。今後は総合校とエンタメ校との間で漫画関連学科の棲み分けが必要になると思うが、学科の創設と統廃合の素早さが大阪総合デザイン専門学校の成長の原動力であり、経営のスピードであろう。OBを含む学生達の運営による中崎町町家デザインショップなどをカリキュラムに取り入れ、姉妹校のエンタメ校や服飾専門学校ともコラボレートしてデザインを発信すると楽しいと思う。そこに同窓会の事務局を置くこともよいのではないかと、卒業生 11 名を雇用する者としてこのようなことを考えた。(鵜飼委員)</p>	

* 各委員に項目ごとに4段階評価を受け、総合評価として平均値を記載。

5. 終わりに 校長から各委員に貴重なご意見を頂戴したお礼の挨拶を行い、今後の学園・学校運営の改善に活用することをご報告し、閉会となった。

以上